

村田春海 はらたけ 詩人、ロシア文學翻譯家。明治二十八年一月二十日大阪生れ、昭和十一年二月二十六日歿（九〇三一七）。第二高等學校中退後早稲田大學露文專攻科卒業。夙小川盛好藏、黒田辰男等と「曙光」を、大正九年からは尾崎一雄、山崎剛平等と「極光」といふ同覽雜誌を作る。十二年同窓小宮山剛敏の妹^{ありと}と結婚し、翌年尾崎、小宮山等と同人誌「新潮」を創刊。また詩誌「詩神」、ロシア詩人「等」詩や詩論を發表。遺著「村田春海詩集」（黒田辰男編、昭和十一年五月五日叢文閣）刊。

譯書「ソキエト・ロシア詩選」（黒田辰男 園田時子共譯著、昭和四年二月）、「十日マルクス書房」、マキシム・ゴリキー作「母」（普及版、昭和五年十一月十日マルクス書房）、オリョーシヤ作「新しき者と古き者」（昭和五年十一月十日鐵塔書院「ソヴェト作家叢書」）、「コロキイ研究」（共譯・上田進編、昭和十年五月二十日福田政弘刊、成光館書店發賣。再刊、十一年四月二十五日萩原屋文館）、「ドレーデン編コレニンと藝術」（共譯、昭和二十一年一月二十五日社會書房）等。